

# 平成 28 年度社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会事業報告

## 〇はじめに

我が国では、景気回復の兆しも現れつつあるとの見方を示しているものの、現状ではその実感は得られない現状が続いている。近年では、少子化や核家族化あるいは単身世帯や高齢者世帯の増加など、家族の構成も変化してきている。一方では非正規雇用者や生活保護世帯が増加するなど、所得格差の拡大と貧困層の増加が懸念されている。

こうした中、国では社会福祉法人改革が進められ、当会においても、平成 29 年度から本格的に実施される改正社会福祉法への対応を行うとともに、地域の代表者や福祉関係機関・組織・団体等が参画している社会福祉法人としての使命を果たすべく、活動を行ってきたところである。

また、地域コミュニティの変容を背景に、買い物困難者など新たな地域福祉課題の顕在化、病気や困窮など複合的なニーズを抱える要援護者等の社会的孤立、公的制度やサービスだけでは拾いきれない多様な生活課題、福祉ニーズへの対応が全国的な課題となっている中で、当会としては、計画期間の最終年度を迎える第二次地域福祉活動計画の検証と評価を行い、地域住民や行政、関係機関等と共通の目標と役割分担を定め、それぞれの協働のもとに、多様な生活課題・福祉ニーズに対応するため、第三次地域福祉活動計画の策定を行った。

制度の狭間にある人々への支援は、生活困窮者自立支援事業を継続し、ひきこもり者への支援、障がい者等の地域生活移行や生活困窮者の一時的な住居の確保を目的とした地域移行等支援事業、市民後見人養成や活動の支援、日常生活全般を支援する新たなサービスの検討と事業を行ってきた。

新たな試みとしては、こどもの孤食という観点から、こども食堂の事業を検討し、試行的に実施した。

在宅福祉サービス事業においては、介護報酬改定により厳しい経営状況であったが、経営資源の効果的な配分に努め、安定的な事業を実施した。

また、在宅福祉サービス事業の拠点となっている扇町介護保険事業センターにおいては、老朽化が顕著となったことから、新たに新事務所を建設することとし、建設用地の取得および設計業者の選定を行った。

通所介護事業では、リハビリ特化型短時間デイサービス事業である、シニアエクササイズさんわを開所し、機能回復により、在宅で、できる限り生活できるための一翼を担ったところである。

また、平成 29 年度から本格実施予定の介護予防・日常生活支援総合事業への準備を行った。

なお、平成 29 年 3 月 31 日現在の職員数は、正職員Ⅰ 78 人、正職員Ⅱ 17 人、契約職員 47 人、非常勤職員 117 人、嘱託職員 7 人の計 266 人となっている。

## 第 1 法人運営部門（総務課 総務係・経理係） 「経営基盤の強化と組織ガバナンス強化に向けた組織体制の整備」

法人運営部門では、改正社会福祉法による経営基盤と組織ガバナンス強化に向けた組織体制について、法令に定める社会福祉法人運営改革の整備を行った。また、限られた財源、人材、設備、情報を有効活用し、法人内の効果的、効率的な法人運営を行い、住民ニーズに基づいた社協らしい価値ある事業の充実、発展を目指し、事業の効果的な実施に向けた体制整備を行ってきた。

平成 28 年度は、介護保険事業在宅サービスの拠点として課題となっていた扇町介護保険事業センターの老朽化に伴う今後のあり方を検討し、長期的視野に立ち、新事務所の建設に向けた準備を進めてきた。

また、「組織は人なり」を基本コンセプトとして、一人ひとりの職員が、仕事と家庭を両立しやすいよう育児や介護の休業環境の整備を行った。仕事を通じて成長し、よろこびや生きがいを感じられるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、職員が定着する職場環境の見直しを行った。

# 1 経営基盤の強化に向けた組織体制の整備

## (1) 組織ガバナンス、情報管理体制の強化

### ① 組織ガバナンスの強化

- ア 監査の実施・・・顧問税理士による会計業務月次監査 隔月 6 回、決算監査 年 1 回
- イ 情報公開・・・・・・・・・・ホームページや「福祉のひろば」における財務諸表等の公表、各事業所における事業計画、予算書、決算書の掲示
- ウ 予算管理、預貯金の管理、現金の管理に関わる内部統制システムの構築
- エ 特定個人情報を含む個人情報の取り扱い、保管、管理の体制の構築

### ② 新たな地域公益事業の取組、事業実施体制の整備

- ア 社協会費を充当した地域移行等事業（アパート借り上げ事業）の実施（平成 27 年～継続）
- イ シニアエクササイズさんわ事業開始（平成 28 年 4 月 1 日）
- ウ 障害福祉サービス事業就労継続支援 B 型の事業化への検討

## (2) 改正社会福祉法による組織改革

- ① 改正社会福祉法による定款、諸規程の整備
- ② 評議員、役員体制の整備、評議員選任・解任委員会の設置
- ③ 事務連絡会議、研修会等への参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 回
- ④ 市内社会福祉法人の情報交換会の開催（9 月 30 日、12 月 7 日）・・・・・・2 回

## (3) 安心して意欲的に働ける職場環境の整備

### ① ワーク・ライフ・バランスへの配慮

- ア 計画的な有給休暇の取得促進・・・・・・・・・・夏季休暇 3 日、ほか
- イ 育児休業・介護休業制度等の周知と取得の促進
  - (ア) 育児休業の取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 人（うち男性 0 人、女性 4 人）
  - (イ) 子の看護休暇（育児休業等に関する規定第 10 条に基づく）・・ 7 人
  - (ウ) 介護休業の取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 人
- ウ 休業・休職に対する各種助成制度の活用申請・・・・・・・・・・傷病手当 1 人、休業補償 2 人

### ② 心と体の健康支援

- ア 定期健康診断の実施（3 日間）による早期発見及び要精密検査者への受診勧奨の実施
- イ 人間ドックの受診助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・66 人
- ウ 衛生委員会における健康障害防止対策及び安全衛生活動の推進
  - (ア) 衛生委員会の開催と安全衛生活動の推進・・・・・・・・・・ 12 回
  - (イ) 衛生委員会主催の安全衛生研修会の開催・・・・・・・・・・ 12 回（毎月 1 回開催）
  - (ウ) 交通事故発生情報等の周知、注意喚起
- エ 心の健康に関する研修の実施等、メンタルヘルス対策の推進
- オ ストレスチェックの実施と高ストレス者への対応（新規）・・・・・・・・・・扇町 101 人中 2 人

### ③ 高齢者・障がい者雇用の積極的な推進

- ア 高齢者の雇用支援（定年後の再雇用継続） 嘱託職員 6 人、非常勤職員 25 人
- イ 障害者の雇用支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 非常勤職員 2 人、嘱託職員 2 人  
赤坂山・松波・北条デイサービスセンター各 1 人、総務課 1 人

## (4) 魅力ある社協マンの育成

### ① 優秀な人材の確保・育成

- ア 育成面接による目標管理、業務管理等人事考課制度の効果的運用
- イ キャリアパス・研修体制の構築
- ウ 外部組織・団体との交流研修・・・・・・・・・・正職 2 人（シニアフィットネスひよし、かしわハンス）
- エ 国家資格等取得等の奨励及び助成・・社会福祉士 1 人、精神保健福祉士 0 人  
介護福祉士 1 人、介護支援専門員 3 人

② 新採用職員及び研修

- ア 平成28年4月新採用職員 . . . . . 正職員 3人
- イ 新採用職員研修(4月1日) . . . . . 参加者 8人
- ウ 新入社員セミナー(4月4日～5日商工会議所主催) . . . . . 参加者 2人
- エ 平成29年4月新採用職員 . . . . . 正職員 4人

③ 内部登用制度の充実

- ア 国家資格等有資格者の正職員への登用 . . . . . 正職員2人
- イ 非常勤職員から常勤職員へ内部登用試験の実施による登用 . . . . . 契約職員7人

2 介護報酬請求及び各種申請、届出等に関する事務の実施

事務効率の観点から、各種届出について、一部の事務を所管する各課に移管した。

3 扇町介護保険事業センター建物のあり方に係る中長期計画の策定

平成28年11月に新事務所建設予定地を購入し、登記を実施した。  
 平成28年12月19日に新事務所設計コンペを実施した。・・2社が参加  
 平成29年秋に建設完了する予定となる。

4 社会福祉協議会の会務運営

(1) 理事会の開催：5月、9月、12月、1月、3月、5回開催

① 理事会(定数13人)の開催 会場：柏崎市総合福祉センター

開催日	出席人数	議 事
5月25日	12人	承第 1号 平成27年度事業報告の認定について 承第 2号 平成27年度決算の認定について 議第 1号 平成28年度資金収支補正予算(第1号)について 議第 2号 職員育児休業等に関する規程の一部改正について 議第 3号 退職手当規程の一部改正について 選第 1号 評議員の選任について
9月29日	12人 (うち 1名書 面議決)	議第 4号 赤坂山デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第 5号 基本財産の取得について(扇町介護保険事業センターの建替 及び移転について) 議第 6号 平成28年度資金収支補正予算(第2号)について
12月2日	13人	議第 7号 基本財産の平成28年度取得に伴う定款の一部改正について 議第 8号 改正社会福祉法平成29年4月1日施行に伴う定款の全部 改正について 議第 9号 評議員選任・解任委員会運営細則(案)の制定について 議第10号 理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員の選任区分に ついて 議第11号 平成28年度資金収支補正予算(第3号)について 議第12号 赤坂山デ サービスセンター認知症対応型通所介護事業の休止に ついて
平成29年 1月26日	12人 (うち	議第13号 役員選任規程の制定について 議第14号 評議員の費用弁償に関する規程の制定について

	1名書 面議決)	<p>議第 15 号 評議員選出規程の一部改正について</p> <p>議第 16 号 役員の報酬等に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 17 号 会員規程の一部改正について</p> <p>議第 18 号 委員会規程の一部改正について</p> <p>議第 19 号 福祉基金の設置及び管理運用に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 20 号 心配ごと相談所設置運営規程の一部改正について</p> <p>議第 21 号 コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 22 号 生活支援復興基金設置規程の一部改正について</p> <p>議第 23 号 訪問介護事業所 訪問介護・訪問型サービス (介護予防訪問介護相当サービス) 運営規程の制定について</p> <p>議第 24 号 訪問介護事業所 柏崎市訪問型サービス A (緩和した基準によるサービス) 運営規程の制定について</p> <p>議第 25 号 赤坂山デイサービスセンター運営規程の一部改正について</p> <p>議第 26 号 松波デイサービスセンター運営規程の一部改正について</p> <p>議第 27 号 松波デイサービスセンター認知症対応型通所介護事業 運営規程の一部改正について</p> <p>議第 28 号 北条デイサービスセンター運営規程の一部改正について</p> <p>議第 29 号 赤坂山デイサービスセンター生活介護事業所 (基準該当障害福祉サービス) 運営規程の廃止について</p> <p>議第 30 号 松波デイサービスセンター生活介護事業所 (基準該当障害福祉サービス) 運営規程の制定について</p> <p>議第 31 号 赤坂山デイサービスセンター通所型サービス (介護予防通所介護相当サービス) 運営規程の制定について</p> <p>議第 32 号 北条デイサービスセンター通所型サービス (介護予防通所介護相当サービス) 運営規程の制定について</p> <p>議第 33 号 シニアエクササイズさんわ通所型サービス (介護予防通所介護相当サービス) 運営規程の制定について</p> <p>選第 2 号 評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>議第 34 号 次期評議員候補者の推薦提案について</p>
3月16日	13人	<p>議第 35 号 平成 28 年度資金収支補正予算 (第 4 号) について</p> <p>議第 36 号 平成 29 年度事業計画 (案) について</p> <p>議第 37 号 平成 29 年度資金収支予算 (案) について</p> <p>議第 38 号 役員の報酬等に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 39 号 寄附金等取扱規則の制定について</p> <p>議第 40 号 定款施行細則の全部改正について</p> <p>議第 41 号 事務局規程の一部改正について</p> <p>議第 42 号 事務決裁規程の一部改正について</p> <p>議第 43 号 経理規程の一部改正について</p> <p>議第 44 号 就業規則の一部改正について</p>

		議第 45 号 職員育児休業等に関する規程の一部改正について 議第 46 号 職員介護休業等に関する規程の一部改正について 議第 47 号 給与規程の一部改正について 議第 48 号 ボランティア基金設置規程の一部改正について 議第 49 号 児童クラブ運営規程の一部改正について 議第 50 号 松波デイサービスセンター通所型サービス (介護予防通所介護相当サービス)運営規程の制定について 議第 51 号 赤坂山デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第 52 号 赤坂山デイサービスセンター通所型サービス(介護予防 通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 議第 53 号 北条デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第 54 号 北条デイサービスセンター通所型サービス(介護予防 通所介護相当サービス)運営規程の一部改正について 報第 1 号 次期評議員候補者の選任報告について
--	--	--

(2) 評議員会の開催：5月、9月、12月、3月、4回開催

① 評議員会(定数27人)の開催状況 会場：柏崎市総合福祉センター

開催日	出席人数	議 事
5月25日	22名	承第 1 号 平成 27 年度事業報告の認定について 承第 2 号 平成 27 年度決算の認定について 議第 1 号 平成 28 年度資金収支補正予算(第 1 号)について
9月29日	25名	議第 2 号 基本財産の取得について(扇町介護保険事業センターの 建替及び移転について) 議第 3 号 平成 28 年度資金収支補正予算(第 2 号)について
12月2日	26名	議第 4 号 基本財産の平成 28 年度取得に伴う定款の一部改正に ついて 議第 5 号 改正社会福祉法平成 29 年 4 月 1 日施行に伴う定款の 全部改正について 議第 6 号 評議員選任・解任委員会運営細則(案)の制定について 議第 7 号 理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員の選任区分 について 議第 8 号 平成 28 年度資金収支補正予算(第 3 号)について 議第 9 号 赤坂山デイサービスセンター認知症対応型通所介護事業 の休止について
平成29年 3月16日	20名	議第 10 号 平成 28 年度資金収支補正予算(第 4 号)について 議第 11 号 平成 29 年度事業計画(案)について 議第 12 号 平成 29 年度資金収支予算(案)について 議第 13 号 定款施行細則の全部改正について

(3) 三部会(総務部会、地域福祉部会、在宅福祉サービス部会)及び正副会長三部会長会議の開催

① 部会の開催(9月、2月)、正副会長三部会長会議の開催(5月、9月、11月、1月、3月)

開催日	部会名	議 題
5月16日	正副会長・ 三部会長会 議	(1) 平成27年度事業報告の認定について (2) 平成27年度決算の認定について (3) 平成28年度資金収支補正予算(第1号)について (4) 職員育児休業等に関する規程の一部改正について (5) 退職手当規程の一部改正について ・その他 (1) 生活困窮者自立支援事業の学習支援事業について (2) 短時間デイサービスの利用状況 (3) 熊本地震への当会としての対応
9月1日	総務部会	(1) 赤坂山デイサービスセンターの定員変更に伴う運営規程の変更について (2) 扇町介護保険事業センターの建替及び移転について (3) 平成28年度資金収支補正予算第2号(案)について ・その他 (1) 社会福祉法人制度改正について
9月1日	正副会長・ 三部会長会 議	(1) 赤坂山デイサービスセンターの定員変更に伴う運営規程の変更について (2) 扇町介護保険事業センターの建替及び移転について (3) 平成28年度資金収支補正予算第2号(案)について ・その他 (1) 県民福祉大会について (2) 社会福祉法人制度改正について
11月10日	正副会長・ 三部会長会 議	(1) 定款の全部改正について (2) 理事・監事・評議員の定数について
11月24日	正副会長・ 三部会長会 議	(1) 基本財産の平成28年度取得に伴う定款の一部改正について (2) 改正社会福祉法平成29年4月1日施行に伴う定款の全部改正について(第2回目) (3) 評議員選任・解任委員会の設置及び運営細則(案)の制定について (4) 理事・監事・評議員の選出区分(案)について
平成29年 1月17日	正副会長会 議	(1) 諸規程の制定・改正・廃止について (2) 評議員選任・解任委員候補者の推薦について (3) 評議員候補者の推薦について ・その他諸般の報告について (1) 定款の全部改正について(平成29年4月1日施行)・・・ 平成28年12月26日付認可承認 (2) 地域福祉活動計画について (3) おせち料理配達事業の報告 (4) こども食堂第1回実施報告
2月16日	総務部会	総務部会

	<p>地域福祉部会 在宅福祉サ ービス部会</p>	<p>(1) 平成 28 年度決算見込について ①平成 28 年度事業進捗報告について ②平成 28 年度決算見込みについて (2) 平成 29 年度事業計画（案）について ・新規事業/重点取り組み事業等 ①扇町介護保険事業センター建設について ②障がい者の地域活動支援と就労活動支援事業について ③児童クラブについて ④総合事業への取組みと体制について ・その他 (1) 社会福祉法改正による法人改革スケジュールについて</p> <p>地域福祉部会 (1) 平成 28 年度決算見込について ①平成 28 年度事業進捗報告について ②平成 28 年度決算見込みについて (2) 平成 29 年度事業計画（案）について ・新規事業/重点取り組み事業等 ①障がい者の地域活動支援と就労活動支援事業について ②児童クラブについて ③こども食堂について (3) 平成 29 年度資金収支予算（案）について ・その他 (1) 社会福祉法改正による法人改革スケジュールについて</p> <p>在宅福祉サ ービス部会 (1) 平成 28 年度決算見込について ①平成 28 年度事業進捗報告について ②平成 28 年度決算見込みについて (2) 平成 29 年度事業計画（案）について ・新規事業/重点取り組み事業等 ①扇町介護保険事業センター建設について ②総合事業への取組みと体制について (3) 平成 29 年度資金収支予算（案）について ・その他 (1) 社会福祉法改正による法人改革スケジュールについて</p>
<p>3月2日</p>	<p>正副会長・ 三部会長会 議</p>	<p>(1) 三部会の報告 (2) 平成 28 年度資金収支補正予算（第 4 号）について (3) 平成 29 年度事業計画（案）について (4) 平成 29 年度資金収支予算（案）について (5) 諸規程の制定及び一部改正について ・その他 (1) 次期評議員の選任報告</p>

(4) 監査の実施

ア 上期監査 5月11日 平成 27 年度決算監査

イ 下期監査 11月17日 平成 28 年度上半期現金出納監査

- (5) 役員研修の実施
  - ① 先進地社協視察研修（群馬県藤岡市社協）及び新潟県民福祉大会（湯沢町）への参加  
 ・ ・ ・ ・ ・（平成 28 年 10 月 25 日～26 日）参加者 13 人
  - ② 新潟県社会福祉協議会主催関係会議への参加
  - ③ 社会福祉事業推進を目的に民生・児童委員、福祉団体及び関係機関との連絡調整
- (6) 人事管理及び組織体制の強化
  - ① 管理職による業務の進捗管理と内部統制の強化
    - ア 課長会議の開催（月 1 回開催）
    - イ 係長級以上の役職員へのヒアリングの実施（5 月、10 月）
    - ウ 苦情解決体制の強化
      - （ア）第三者委員会を開催し、苦情・要望等から業務改善策等を検討  
 7 月 28 日実施 平成 27 年度下期ヒヤリハット・苦情受付・対応状況について
- (7) 人事考課制度
  - ① 正職員を対象に DO-CAP シートを活用した育成面接を年 2 回実施（5 月、11 月）
  - ② 人事考課委員会の開催 平成 29 年 1 月 13 日
- (8) 事故防止への取組
  - ア 安全運転管理者の法定講習（6 月）
  - イ 車両事故防止への取組み・・・運行前点検の徹底、柏崎警察署管内の事故発生状況や注意事項等の周知（福祉センターが優良安全運転事業所表彰）
  - ウ 衛生委員会開催・・・毎月 1 回

## 5 会員会費制度の実施

- (1) 会員制度の推進のため、平成 28 年 10 月より社会福祉協議会会員会費の納入依頼を開始した。
  - ① 一般会員（世帯、一口 500 円）
  - ② 賛助会員（福祉団体・施設職員等、一口 500 円以上）
  - ③ 特別会員（事業所等、一口 5,000 円以上）
- (2) 会費制度の納入状況

11 年目を迎えた社会福祉協議会会員会費制度については、特別会員加入の特典として本会のホームページや広報紙への広告掲載を行い、新たな企業、団体からも加入の申し込みがあった。

### ア 一般会費

地区及び 1 世帯あたり会費	全世帯数	会員数（世帯）	会費額（円）	加入率（％）
柏崎地区：500 円	30,075	20,393	10,191,903	67.8
高柳地区：500 円	769	606	306,500	78.8
西山地区：500 円	1,937	1,731	864,170	89.4
合計	32,781	22,730	11,362,573	69.3

### イ 賛助会費及び特別会費

種別	人数・件数	口数	会費額（円）
賛助会費：1 口 500 円	389	730	365,000
特別会費：1 口 5,000 円	82	211	1,055,000
合計	471	941	1,420,000

## 6 社会福祉協議会長表彰の実施（8 月 26 日 柏崎市市民プラザ）

- (1) 功労者表彰の実施・・・団体 0 人、個人 50 人
- (2) 福祉活動等功労者の顕彰と市民に対する住民福祉活動の啓蒙



7 柏崎市共同募金委員会への協力

10月～12月実施の赤い羽根共同募金への協力

8 日本赤十字社柏崎市地区への協力

日赤社費取りまとめへの協力

## 第2 地域福祉推進部門（地域福祉課 地域福祉係・生活支援係） 「ともに支え合い、誰もが安心して自分らしく過ごせる地域づくりの推進」

地域コミュニティの変容を背景に、病気や困窮など複合的なニーズを抱える要援護者等の社会的孤立、公的な制度やサービスだけでは拾いきれない多様な生活課題が新たに顕在化する中、平成27年度から2か年、7回にわたる推進会議での協議検討を経て、成年後見や生活困窮者支援に、新たにこども食堂などの事業や取り組みを含む第三次地域福祉活動計画を策定した。

生活支援係においては、日常生活自立支援事業や成年後見制度普及啓発事業を通し、高齢者や障がい者が地域で安心して暮らすことのできる権利擁護事業を展開するとともに、市民後見人養成講座修了者から本会が行う法人後見に協働参画していただいた。

生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、家計相談支援、就労準備支援に加え、新たに学習支援事業にも取り組んだ。

地域福祉係においては、あらゆる世代の人たちに地域福祉活動に関する情報が届くよう、SNSの活用をはじめとした広報活動の見直しを行い、講座やイベントなどにおける参加者数の増加に繋がった。

さらに、地域住民による支え合い体制の更なる充実を目的に、地域食事サービスやふれあいサロン、年末のおせち料理配達事業等訪問による見守り活動や誰もが気軽に集い、通える場づくり等を支援した。地域社会とのつながりが途切れがちとなった住民の「つながり」の再構築を支援し、孤立や孤独、不安の解消に努め、ともに支え合い、誰もが安心して自分らしく過ごせる地域づくりの支援を行った。

また、平成28年12月に発生した糸魚川駅北大火災においては、1月4日から7日にかけて、職員延べ10人を派遣し、災害支援活動を行った。

### 1 生活困窮者自立支援事業

※（ ）の数字は平成27年度実績

#### (1) 生活困窮者自立支援事業の受託

##### ① 困窮者からの相談及び包括的に対応する自立相談支援事業の実施

ア 相談者実数	221人 (261人)
イ 相談対応延回数	2,927回 (2,748回)

##### ② 家計相談支援事業

ア 家計相談支援事業利用者	102人
---------------	------

##### ③ 就労準備支援事業

ア 就労準備支援事業利用者	16人
イ フリースペースぶらっと開催	25回 (14回)
延べ当事者参加数	119人
延べ家族参加数	15人

##### ④ 学習支援事業の実施

ア 訪問型利用者	6人 (延べ支援回数 93回)
イ 集合型学習支援	夏休み 14日間開催 延べ参加者数 22人
	冬休み 10日間開催 延べ参加者数 52人
	春休み 5日間開催 延べ参加者数 10人
ウ 協力員登録者数	14人

#### (2) 生活福祉資金貸付事業の受託

① 生活福祉資金相談件数	50件
② 貸付件数 緊急小口資金	1件 100,000円

#### (3) 自殺予防のための相談支援体制の構築

- ① 保健所及びハローワークと協働によるワンストップ総合相談会の開催
  - ア ころとくらしの総合相談会 . . . . . 6日間参画
- ② 関係機関との連携
  - ア 関係機関とのケア会議・打合せ . . . . . 150回

## 2 日常生活自立支援事業

- (1) 日常生活自立支援事業の推進
  - ① 新規契約 . . . . . 29人
  - ② 契約終了 . . . . . 26人
  - ③ 契約に至らない相談 . . . . . 14人
  - ④ ケア会議の参加 . . . . . 154回

## 3 成年後見制度事業

- (1) 成年後見制度普及啓発事業の受託
  - ① 成年後見制度研修会（7月22日） . . . . . 参加者31人
  - ② 金融機関との情報交換会（2月23日） . . . . . 参加者15人
  - ③ 成年後見制度に関する相談 . . . . . 25件
  - ④ 成年後見制度利用支援 . . . . . 27件
- (2) 市民後見人の養成
  - ① 市民後見人養成講座の開催 . . . . . 参加者11人
  - ② 市民後見人の活動 . . . . . (29年3月末)6名活動中
  - ③ 市民後見定例会 . . . . . 11回

## 4 法人後見事業

- (1) 本会としての法人後見の受任 . . . . . 3件受任（合計15件 2件終了）
- (2) 法人後見運営委員会の開催 . . . . . 5回開催

## 5 地域移行等支援事業

- (1) アパート生活を通しての社会生活体験機会の提供
  - ① 実利用者 . . . . . 15人、68回延べ663泊

## 6 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉活動の推進
  - ① 活動計画に沿った事業の展開と進捗管理
 

活動計画に掲げた基本目標に基づき、職員が出向き、各地区で展開されるサロンや地区福祉組織による住民福祉活動その他の助け合い活動に関する実態把握に努めた。
  - ② 地区福祉組織活動の支援
 

コミュニティセンター単位に設置されている地区福祉組織について、柏崎地区23か所、西山地区6か所、高柳地区の1か所の活動を支援した。

福祉センターお茶の間サロンの活動支援（毎週水曜日） . . . . . 参加者265人  
(325人)
  - ③ 要援護者支援システムの運用 要援護者の情報管理等
  - ④ 買い物支援「買い物安心ネットワークサービス」の活用・登録者1人、利用回数延30回

(2人、23回)

- ⑤ 第三次地域福祉活動計画策定に向けての取り組み  
推進会議の開催（6月27日、9月12日、11月4日、1月27日）

(2) ふれあい総合相談所の運営

市民が抱える様々な困りごとに対して専門相談機関と連携を図りながら広く相談に応じ、問題解決を図った。

- ① 一般相談 . . . . . 相談員 7人

相談名	相談日	相談件数	平成27年度件数
心配ごと相談	毎週 月・火・木・金曜日	186件	211件

高柳地区1回、西山地区1回の巡回相談を実施

- ② 専門相談 . . . . . 相談員：弁護士・司法書士・税理士・行政書士

相談名	相談日	相談件数	平成27年度件数
法律相談	毎月 第1・第3火曜日	55件	57件
司法書士相談	毎月 第4木曜日	22件	22件
税金相談	偶数月 第2火曜日	2件	3件
行政書士相談	奇数月 第3木曜日	2件	10件
合 計		81件	92件

(3) 福祉教育推進事業

- ① 福祉教育プログラムの企画と学校・地域住民へ提案、開催支援等  
小学校8校、中学校4校、地域住民対象2地区、その他1か所  
(小学校6校、中学校4校、地域住民対象1地区、その他1か所)
- ② 福祉教育サポートボランティア説明会（5月20日） . . . . . 参加者 24人  
(16人)
- ③ ボランティア推進校助成事業の実施（助成総額480,000円） . . . . . 12校  
(9校)
- ④ 世代間交流事業の推進  
スポーツ吹矢、ペタンクの用具貸出等 . . . . . 1回  
(3回)

(4) 広報・啓発活動

- ① わいわいがやがやフェスティバル開催（6月25日） . . . . . 来場者 1,237人  
(754人)
- ② 西山フェスティバル開催（10月8日）西山町いきいき館 . . . . . 来場者 491人  
(522人)
- ③ おもちゃフェスティバルの開催（11月26日） . . . . . 来場者 602人  
(551人)
- ④ 広報紙「福祉のひろば」の発行 . . . . . 年6回  
(6回)
- ⑤ コミュニティセンターまつりへの参加 . . . . . 16地区  
(16地区)
- ⑥ 社会福祉協議会ホームページを活用した情報発信  
広報かしわざきや各新聞社、コミュニティ放送等を利用した事業の広報
- ⑦ FACEBOOK ページの運用

## (5) こども食堂

- ① \*1 フードドライブの実施
- ② ボランティア説明会の開催
- ③ こども食堂の開催

ア 12月2日(金) 16時~20時

(ア) 会場 柏崎市総合福祉センター 参加者こども 18人、大人 6人、ボランティア 18人

イ 3月2日(金) 16時~20時

(ア) 会場 柏崎市総合福祉センター 参加者こども 14人、大人 9人、ボランティア 10人

(イ) 会場 北園集会所 参加者こども 15人、大人 9人、ボランティア 9人

### \*1 フードドライブとは

家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

## (6) 関係団体への協力

- ① 柏崎市老人クラブ連合会
- ② 柏崎市手をつなぐ育成会
- ③ 柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会
- ④ 柏崎市ボランティア連絡協議会
- ⑤ その他福祉関係団体

## 7 ボランティアセンター運営事業

### (1) ボランティアセンター

- ① ボランティアに関する相談の受付 . . . . . 1,575件 (1,294件)
- ② ボランティア登録システムの充実 . . . . . 83団体: 2,212人、個人 185人  
(73団体: 1,999人、個人 150人)
- ③ ボランティア大交流会(3月4日) . . . . . 参加者 48人  
(66人)

### (2) ボランティア育成事業

- ① ボランティア育成講座の開催(入門編: 傾聴講座 5月17日) . . . . . 参加者 28人  
(11人)
- ② ボランティア体験事業  
ア サマーチャレンジボランティアの開催(7月末~8月) . . . . . 参加者 114人  
(100人)  
イ 24時間テレビチャリティ募金(8月28日) . . . . . 参加者 33人  
(28人)
- ③ ボランティア交流会<Mini ミニ講座>  
ア 総合福祉センター . . . . . 参加者 152人  
(130人)
- ④ ボランティア受入れ担当者連絡会 . . . . . 参加者 11名  
(27人)
- ⑤ ボランティアコーディネーター研修(12月20日) . . . . . 参加者 26人  
(27人)

- (3) 障がい児・者福祉活動事業
  - ① 障がい理解講座の開催
    - ア 精神障がい編（6月10日、21日）・・・10日参加者63人 21日参加者45人  
(18人)
- (4) ボランティアセンター運営委員会
  - ① 運営委員会の開催・・・年4回（年4回）
  - ② 視察研修の実施（12月15日）
    - 視察先：新潟市江南区社会福祉協議会 NPO法人ボランティア 亀田メイプルかめだ  
参加委員5人
- (5) 災害ボランティアセンター
  - ① 柏崎市総合防災訓練(災害ボランティアセンター設置訓練6月26日)・・・参加者20人  
(21人)
  - ② 災害ボランティアセンター支援：糸魚川駅北大規模火災（糸魚川市）  
糸魚川地域たすけあいボランティアセンター支援（1月4日から8日）職員延10人派遣
- (6) 広報・啓発事業
  - ① ボランティアセンター情報紙「Fun ファン Fan」の発行・・・年6回  
(年6回)
  - ② コミュニティ放送や新聞社との連携

## 8 共同募金配分金事業

- (1) 一般募金配分金事業
  - ① ふれあいサロン（地域の茶の間）活動の推進
    - ア 誰もが気軽に集まることができるふれあいサロンへの活動助成  
市内118サロンのうち103サロン  
(市内118サロンのうち107サロン)
    - イ ふれあいサロンボランティア研修会の開催（7地区で実施）・・・参加者136人  
(61人)
  - ② 地域食事サービス事業
    - ア 17地区で実施されたボランティアによる配食サービス及び会食サービスの支援
    - イ 地域食事サービスボランティア研修会の開催（9月27日）・・・参加者18人  
(23人)
  - ③ 赤い羽根パートナーミーティングの開催（8月26日）
    - 講演：藪本 雅子氏・・・来場者約150人  
(400人)
  - ④ 新一年生お祝い事業（入学式お祝い鉛筆贈呈）・・・628人  
(634人)
- (2) 歳末たすけあい募金配分金事業
  - ① おせち料理配達事業
    - 見守り、声かけ活動を兼ねて、町内会長や民生委員等の協力を得ながら、年末に高齢者世帯等におせち料理2,738食を配達した。  
(2,387食)
  - ② 除雪ボランティアセンター設置・・・12月1日～3月1日
    - ア 除雪ボランティア登録者・・・81人（内訳：市内60人、市外16人、県外5人）  
(70人内訳：市内42人、市外4人、県外24人)

イ 除雪ボランティア活動状況

除雪ボラ問合せ	活動件数	ボラ活動延べ人数	職員延べ人数
160件(140件)	13件(5件)	76人(18人)	17人(8人)

ウ 除雪ボランティア派遣状況

中鯖石	南鯖石	別 俣	野 田	鷓 川	北 条	高 柳	計
0件 (1件)	3件 (0件)	1件 (0件)	3件 (2件)	2件 (0件)	0件 (2件)	4件 (0件)	13件 (5件)

③ 除雪ボランティアの登録及び活動調整

コーディネーター委嘱式・説明会(10月20日) . . . . . 委嘱 5人  
(4人)

④ 冬囲い(落とし板)支援 . . . . . 10件  
(7件)

9 ふれあい給食サービスの実施

(1) 毎日型給食サービスの実施

配 達 日	月曜日～日曜日(祝日及び年末年始を除く)
目 的	食の確保と安否確認
対 象 者	市内に居住する65歳以上の単身又は高齢者世帯等で、身体上又は精神上の障がいのために自力での調理が困難若しくは他に調理できる家族等がない者
配 達 数	延べ48,520食(46,749食)
弁当の内容	Aコース:550円/食 おかず・ご飯・味噌汁 Bコース:450円/食 おかずのみ

10 指定管理事業

(1) 柏崎市総合福祉センター

障がい者、高齢者、児童、ひとり親家庭等、地域福祉推進を活動の目的とする団体等に対し、福祉センターの利用を促進し、活動の場の提供を行った。

また、貸館有料化に伴い、運営体制を整備し、利用者の利便性向上に努めた。

① 総合福祉センター年間利用状況

会議研修室	調理実習室	研修室和室	会議室(1)
5,889人 (4,900人)	1,321人 (852人)	6,790人 (6,193人)	4,830人 (4,625人)
会議室(2)	作業研修室	プレイルーム	ボランティア図書室・集会室
4,415人 (4,100人)	8,213人 (8,561人)	5,460人 (7,487人)	3,067人 (2,894人)
相談室	その他	合 計	
175人 (250人)	2,208人 (1,996人)	42,368人 (41,858人)	

(2) 高齢者生活支援施設結の里

- ① 入居部門（定員 25 人） . . . . . 平成 29 年 3 月 31 日現在入居者 24 人  
 季節行事の実施  
 ・お花見ドライブ（4 月 11 日） ・七夕のつどい（7 月 8 日） ・敬老会（9 月 13 日）  
 ・紅葉ドライブ（11 月 6・9・11 日） ・クリスマス（12 月 19 日） ・新年会（1 月 4 日）  
 ・豆まき（2 月 3 日） ・おひなまつり（3 月 6 日）

② 施設管理

- ア 交流室利用回数 . . . . . 264 回、延人数 2,227 人（256 回、延人数 2,204 人）  
 イ 調理室利用回数 . . . . . 261 回、延人数 2,041 人（253 回、延人数 2,030 人）  
 ウ サロン利用人数 . . . . . 2 階集会室延べ 2,718 人、3 階集会室延べ 2,624 人  
 （ 2 階 1,559 人、3 階 2,461 人）

(3) 高齢者冬期共同住宅ひだまり指定管理事業

施設利用者（11 月から 4 月まで） . . . . . 3 人（5 人）

(4) 柏崎市西山町いきいき館

① 柏崎市西山町いきいき館年間利用状況

いきいきホール	食の広場	わくわく広場	かたくり（集会室）
6,863 人 (6,598 人)	595 人 (524 人)	2,015 人 (2,014 人)	645 人 (527 人)
ゆきわり（集会室）	つばき（集会室）	第 1 研修室	第 2 研修室
544 人 (443 人)	213 人 (119 人)	2,195 人 (2,494 人)	725 人 (785 人)
ボランティア室	福祉工房	相談室	健康づくり広場
97 人 (46 人)	313 人 (189 人)	28 人 (41 人)	72 人 (91 人)
その他	合計		
763 人 (588 人)	15,068 人 (14,459 人)		

② 子育てサロンの開催と子育てサークル活動の支援（西山町いきいき館）

ふれあい子育てサロンの活動支援 毎週月・金曜日と毎月第 2 金曜日 . . . 参加者 959 人  
 (810 人)

③ 西山コムサロン（西山町いきいき館 毎週木曜日） . . . . . 参加者 480 人  
 (697 人)

11 柏崎市立児童クラブ運営受託事業

(1) 児童クラブ運営受託事業：年間延べ利用者数

- ① 比角第二児童クラブ ※計の欄の（）内は平成 29 年 3 月 31 日現在の登録者数  
 ※下段の数字は、27 年度の実績

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
1,570 人 (2,790 人)	1,593 人 (2,871 人)	1,522 人 (1,381 人)	668 人 (550 人)	5,353 人 (29 人) 7,592 人 (40 人)



② 北条児童クラブ（北条小学校）

1年生	2年生	3年生	4年生	計
963人 (1,361人)	1,395人 (1,953人)	1,979人 (1,362人)	595人 (590人)	4,932人(27人) 5,266人(26人)

③ 中通児童クラブ（中通小学校）

1年生	2年生	3年生	4年生	計
646人 (894人)	900人 (222人)	224人 (480人)	35人 (0人)	1,805人(8人) 1,596人(7人)

④ 米山児童クラブ（米山小学校）

1年生	2年生	3年生	4年生	計
652人 (220人)	188人 (691人)	678人 (215人)	217人 (606人)	1,735人(8人) 1,732人(8人)

### 第3 在宅福祉サービス事業部門（訪問事業課・介護支援事業課・通所介護事業課） 「つながる介護」～最大限の力を発揮して進化しよう～

平成29年4月から、\*2「介護予防・日常生活支援総合事業」が本格的に実施されることから、在宅福祉サービス事業部門では、課内研修、三課合同研修会を開催し、総合事業を円滑に推進できるように、情報共有と職員の資質向上に努めた。また、介護保険サービス事業、特に介護予防訪問介護、通所介護に影響が生ずることが予測されるため、報酬単価、加算対応、取り組み事業等を見極め、経営体制の整備に努めた。

訪問事業課では、高齢者の多様な生活ニーズに対応していくために、職員の資質向上を図るとともに、利用者が残された機能を最大限に活かしながら、日常生活を送れるようサービスの質的向上に努めた。

また、障がい者等の地域生活、在宅生活への支援を目的に、相談支援事業、居宅介護事業を実施し、就労や社会参加できる機会の確保などの課題に対応するため、地域福祉全体の視点から検討を進めた。

介護支援事業課では、介護が必要になった高齢者が住みなれた地域で、自分らしく生活ができるよう、地域包括支援センターと連携し、高齢者のニーズ把握を行い、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される柏崎地域の実態に即した「地域包括ケアシステム」の構築を進めた。

通所介護事業課では、機能訓練を希求する利用者ニーズに対応し、リハビリ特化型短時間デイサービス事業を、新たに、北条デイサービスセンター、シニアエクササイズさんわ（市内三和町）の2か所に開設し、質の高い機能訓練サービスの提供に努めた。

また、更なるサービスの充実と職員の資質向上を図るため、係内研修会の他に、「法令順守とプライバシー保護」「認知症対応」「感染症対策」「メンタルヘルス」をテーマに三課合同研修会を開催した。併せて利用者の地域生活支援を強化するため、種々検討会を持ち対応した。

#### \*2 介護予防・日常生活支援総合事業とは

市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を目指すもの。介護保険制度の予防給付のうち訪問介護・通所介護について、市町村が地域の実情に応じた取り組みができる地域支援事業へ移行。

## ○ 訪問事業課

※（ ）の数字は平成27年度実績

### 1 訪問介護事業

訪問介護では、新規利用者の積極的な受け入れに努めるとともに、中山間地域のサービス提供やターミナル期における短期集中的な利用者支援が増加した結果、前年度と比較して延利用者件数が全体で年間2,073件増加した。職員の体制においては、非常勤職員の確保が厳しく常勤職員中心の体制になった。訪問シフト作成・管理・調整において3チームで応援体制をとり、業務の効率化を図ることで、サービス提供を円滑にすすめることができた。

#### (1) サービス提供体制の充実・強化

- ① 各チームに3人のサービス提供責任者を配置し、技能段階に応じた指導及び業務管理を実施した。
- ② 毎月定例の検討会を実施し、訪問手順書及びサービス提供マニュアルの見直しを実施した。
- ③ 介護者等に対し、療養や介護に関する相談・助言を積極的に実施した。
- ④ 職員間で柔軟に訪問予定を調整し、稼働率の向上に努め、成果をあげた。
- ⑤ 各関係機関と連携し、ネットワークを活用して、利用者対応に努めた。

#### (2) 職員の資質向上

- ① 毎月定例の係内研修の実施（研修内容：危険予知対応・職業倫理・介護技術研修（入浴・足浴・

爪切り）・調理実習（電子レンジを使って時短調理）

- ② 常勤職員全員を外部研修会に参加
- ③ 自己の業務を振り返るため、平成 29 年 1 月に自己点検振り返りシートの活用を行い、今後の業務に活用することとしたい。

(3) 事故防止への取り組み

- ① 事故・ヒヤリハット発生時において、随時分析を実施した。
- ② 事故防止策等、緊急時対応マニュアルの見直しを実施した。（4 月・2 月）
- ③ 緊急時対応についての研修会を実施した。（5 月・2 月）

(4) 広報活動等の実施

- ① ヘルパー情報紙「こんにちは。ヘルパーです」を発行した。（年 3 回：5 月・10 月・1 月発行）
- ② 利用者・介護者へのサービス満足度調査を平成 29 年 2 月に実施した。

（配布 150 人・回収 116 人・回収率 77.3%）

(5) 訪問実績

①訪問介護

平成 28 年度介護給付		平成 28 年度予防給付	
利用者実人数	延利用者件数	利用者実人数	延利用者件数
2,172 人(2,101 人)	33,864 件 (31,464 件)	903 人 (984 人)	5,364 件 (5,688 件)

②訪問介護（法定外サービス）

平成 28 年度利用者実人数	144 人 (168 人)
平成 28 年度延利用者件数	252 件 (255 件)

## 2 訪問入浴介護事業

高齢者、障がい者の身体の清潔保持、健康の維持・増進を図るため、介護保険による訪問入浴介護、市から受託の障害者訪問入浴サービスを実施した。また、生活の質の向上と介護者の負担軽減を図った。

(1) サービス提供体制の充実強化

- ① 全身状態の確認及び状態変化の早期発見と介護者等への情報提供を行った。
- ② 介護者等に対し、療養や介護に関する助言・指導を実施した。
- ③ 関係機関との連携及びネットワークの構築に努め、情報交換を密にした。

(2) 職員の資質向上

- ① 職員間の情報共有と資質向上を図るため、毎月 1 回、常勤職員会議と職員全体の係内会議を開催した。
- ② 新任職員指導として、チームで対応しすることとし、現任職員が作業手順書に添って指導した。
- ③ 当会が実施する研修会に積極的に参加し、自己の資質向上を図った。

(3) 事故防止への取り組み

- ① 苦情対応、介護・車両事故、ヒヤリハット事例の収集・分析を行った。
- ② 事故防止策等、作業マニュアルの再確認と見直しを行った。
- ③ 緊急時対応についての研修を係内会議で実施した。
- ④ 車両積載ボイラーの定期的点検及び排水ポンプ、担架ネット、浴槽の点検を行った。

(4) 広報等活動の実施

- ① 関係機関への PR 活動  
「こんにちは！訪問入浴です！」のチラシを作成し、居宅介護支援事業所へ PR を行った。

(5)設備整備

- ① 入浴車両の計画的な入れ替えを検討し、助成事業への申請を行ったが否決となった。

(6)訪問実績

①訪問入浴介護事業の実施

平成 28 年度利用者実人数	465 人 (526 人)
平成 28 年度延利用者件数	2,051 件 (2,371 件)

②障害者訪問入浴サービス事業

平成 28 年度利用者実人数	24 人 (24 人)
平成 28 年度延利用者件数	116 件 (35 件)

### 3 障害者居宅介護等事業

障害福祉サービスでは、刈羽村を含む市内全域にサービスを提供し、新規利用者を積極的に受け入れた結果 3 つの事業の月平均世帯数は昨年を上回り、予算額も上回った。同行援護では、2 名の職員が資格を取得し、有資格者の派遣に努めた。移動支援は、利用者数は昨年を上回ったが、グループ支援が多く派遣件数は下回った。

(1) サービス提供体制の充実・強化

- ① 3 名のサービス提供責任者を配置しヘルパーの段階に応じた指導及び業務管理を実施した。
- ② 毎月定例の検討会を実施し、訪問手順書及びサービス提供マニュアルの定期的な見直しを図った。
- ③ 介護者等に対し、療養や介護に関する助言・指導を実施した。
- ④ 他の係と連携を図り、効率的な訪問を実施し、実績の向上につながった。
- ⑤ 行政主催のワーキングに職員を派遣するなど関係機関と連携し利用者の現状把握の計画を立てた。
- ⑥ 緊急時訪問体制を整備した。
- ⑦ 同行援護資格の資格取得を奨励し、2 名が取得した。

(2) 職員の資質向上

- ① 毎月定例の係内研修の実施(研修内容:危険予知対応・職業倫理・介護技術研修(入浴・足浴・爪切り)・調理実習(電子レンジを使って時短調理))
- ② 難病疾患の受入れ体制整備を行った。
- ③ 県内外の研修へ積極的に参加させた。(県外研修 1 名、常勤職員 7 名)
- ④ 自己の業務を振り返るため、平成 29 年 1 月に自己点検振り返りシートの活用を行い、業務に活かした。

(3) 事故防止への取り組み

- ① 事故・ヒヤリハット発生時において、随時分析を実施した。
- ② 事故防止策等、緊急時対応マニュアルの見直しを実施した。(4 月・2 月)
- ③ 緊急時対応についての研修会を実施した。(5 月・2 月)

(4) 広報活動等の実施

- ① ヘルパー情報紙「こんにちは。ヘルパーです」を発行した。(年 3 回:5 月・10 月・1 月発行)
- ② 利用者・介護者へのサービス満足度調査を平成 29 年 2 月に実施した。

(配付 35 人・回収 26 人・回収率 74.3%)

(5) 訪問実績

① 居宅介護事業

平成 28 年度利用者実人数	934 件 (870 件)
平成 28 年度延利用者件数	8,973 件 (8547 件)

② 同行援護

平成 28 年度利用者実人数	127 件 (120 件)
平成 28 年度延利用者件数	690 件 (706 件)

③ 重度訪問介護 . . . . . 利用実績なし

④ 地域生活支援事業（移動支援事業）

平成 28 年度利用者実人数	311 件 (266 件)
平成 28 年度延利用者件数	1,218 件 (1,250 件)

4 相談支援事業所おうぎまち（一般相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業）事業

相談支援では、新規ケースはいまだに行政からの割り振り委託が殆どという状況である。他市町村からの依頼や少数ではあるが窓口での新規依頼についても積極的に受け入れてきたが、一般相談の対象になっているケースや介護保険への移行、死亡等により計画相談の件数は微増に終わっている。予算的には、計画相談業務はモニタリングによる収入が毎月でないため、請求数にも波があるが、新規受け入れを続け、なお、必要時の細やかなモニタリングの実施により収益につないでいる。一般相談支援者についても、必要に応じて計画相談に繋がるサービスの提示を行い、計画相談支援に繋げている。

(1) サービス提供体制の充実・強化

① \*3 一般相談支援（地域移行支援、地域定着支援）の実施

精神科病院を退院後の利用者に対して地域生活を継続していくため、行政をはじめとする関係機関との連携を深め、常時の連絡・支援体制の確保に努めた。

② \*4 計画相談支援（特定相談支援、障害児相談支援）の提供

障害福祉サービス等を申請した障がい者（児）について、サービス等利用計画の作成及び支給決定後のサービス等利用計画のアセスメントと細やかなモニタリングを行い、利用者の意向に沿ったサービス計画を提供した。

(2) 職員の資質向上

- ① 有資格者の資質向上のための相談支援専門員の現任研修へ参加した。
- ② 市内、県内の各種研修へ参加した。
- ③ 介護保険のケアマネジャーと情報交換する機会の設定し、介護保険への円滑な引継ぎを行った。

(3) 事故防止への取り組み

- ① 事故防止対策等、緊急時対応マニュアルの見直しを行った。

(4) 計画実績

① 一般相談支援

相談支援専門員数	利用者契約数	平成 28 年度実績件数
3 人 (3 人)	(一般相談は契約なし)	98 人 (31 人)

② 計画相談支援

相談支援専門員数	平成 28 年度利用者契約数	平成 28 年度実績件数
3 人 (3 人)	127 件 (118 件)	457 件 (476 件)

\*3 一般相談支援とは

指定相談支援事業者が行うべき計画相談支援以外の業務で障害者、障害児等の保護者、

介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言、障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行う。なお、市が主体となって行う地域生活支援事業のサービスの調整は基本相談支援に含まれる。

＊4 計画相談支援とは

平成 24 年 4 月から、障害者の方にとって必要なサービスをより安心して利用することが出来るように導入されたもので障害者総合福祉法のサービスの支給決定前にサービス等利用計画書案を作成し、サービス支給決定後にサービス事業者等との連絡調整、サービス等利用計画の作成、その後、定期的なモニタリングを行う。

## 5 ゆたか訪問看護ステーション

訪問看護では、独居や高齢者世帯の方の訪問が増えており、個別性を重視した訪問を実施。また、在宅でのリハビリに対するニーズが多くあり、作業療法士による身体状況の評価とリハビリメニュー作成及び、作業療法士・看護師によるリハビリの実施を行った。昨年度末から今年度当初は訪問看護終了のケースが多く、訪問件数が伸びなかったが、6月頃からは新規の依頼が増加し、訪問件数も昨年から微増となった。

(1) サービス提供体制の充実・強化

- ① 利用者の病状や状態を把握し、適切な看護サービスの提供を実施した。
- ② 利用者への療養指導・介護者に対しての介護指導の実施した
- ③ 作業療法士による個別リハビリメニューを作成し、利用者への提供を実施した。
- ④ 緊急時においては、臨機応変に対応し、利用者の安全安心に努めた結果、利用者との信頼関係をより得る結果となった。
- ⑤ 各関係機関と連携し、ネットワークを活用して、迅速な利用者対応を行った。

(2) 職員の資質向上

- ① フットケア研修会参加後に、係内研修で伝達講習を実施。職員同士でフットケアを実践し、スキルアップを行った。
- ② 各種研修会へ積極的に参加した。
- ③ 自己の業務を振り返るため、平成 29 年 3 月に自己点検振り返りシートの活用を行い、今後の業務に活用することとしたい。

(3) 事故防止への取り組み

- ① 介護・車両事故、ヒヤリハット発生後の直近の係内会議にて、分析と情報共有を行い、再発の防止に取り組んだ。
- ② 事故防止策等、緊急時対応マニュアルの見直し
- ③ 緊急時対応について、年度初めの4月に係内全職員を対象にマニュアルの確認を実施し、緊急対応に備えた。

(4) 広報活動等の実施

- ① 利用者・介護者へのサービス満足度調査を平成 29 年 2 月に実施し、職員間において情報共有を行った。  
(101 名に配付 回答数 79 件 回収率 78%)

(5) 訪問実績

平成 28 年度介護予防利用者		平成 28 年度要介護利用者		平成 28 年度医療保険利用者	
利用者実人数	延利用者件数	利用者実人数	延利用者件数	利用者実人数	延利用者件数
138 人 (143 人)	648 件 (634 件)	935 人 (945 人)	4,229 件 (4,161 件)	256 人 (237 人)	1,205 件 (1,099 件)

## ○ 介護支援事業課

### (介護支援第一・二係、地域包括支援係(柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ))

居宅介護支援事業所は、予期せぬ職員の体調不良や産休等による介護支援専門員減員の中で、担当件数管理を強化し、新規利用者受け入れ可能な職員を随時把握して、一人あたりの担当件数を増やすことで、介護保険サービス利用を希望する利用者への的確なサービス提供を行う支援ができた。また、職員個々のスキル向上のために各種研修等に積極的に参加し、常に利用者・介護者に寄り添うことを意識した計画策定に取り組んできた。

毎年、柏崎市から受託している介護者リフレッシュ事業について、介護支援事業課で取り組む初年度であり、従来の形を踏襲し、PR 活動などを行いながら実施したが、参加者が減少した。介護支援専門員や包括支援センターなどの介護に関する相談支援・情報提供の体制が整ったことが、参加者減少の一因と考えられ、今後に課題を残す結果となった。

地域包括支援係(柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ)は、平成27年度に行われた担当地区の変更で、「まちなか」「くじらなみ」の高齢者人口はほぼ均衡したものの、「まちなか」では市街地であることから、有効的な人材活用方法や地域内での連帯感の脆弱性があり、「くじらなみ」は海岸から上米山地区までの広範囲において、介護サービス事業の不足や地域内の関係性が新たな課題となった。虐待などの困難事例も多く、行方不明者や行き倒れなどへの対応が求められるなど、その業務内容は多岐にわたっている。

その中で、地域包括ケアシステム構築に向けて、積極的に地域の輪づくり、連携の素地固めに努力している。

また、介護支援係、地域包括支援係協働で、29年度本格始動を迎える柏崎市総合事業の勉強会を重ね、理解を深めて、利用者、介護者にわかりやすい情報提供を行い、スムーズな移行への準備を進めた。

## 1 居宅介護支援事業

### (1) 法令を遵守したケアマネジメント業務

ケアプラン作成の手順、訪問、モニタリング等、制度に定められた要件及び法令遵守を確実にを行い、関係機関と連携を図りながら、ケアマネジメントを実施した結果、適正に業務を遂行できた。

### (2) 困難ケースに対して、組織的に取り組むことができる体制の整備

主任ケアマネジャー2名、介護支援専門員18名の組織を活かし、困難ケース等へ対応を行った。

- ① 事例検討会の開催(年4回) . . . . . 13回実施
- ② 事例研究及びデータの収集、整理を行い、主任ケアマネジャーが主導して、データを蓄積している。
- ③ 各係の情報共有の推進

### (3) 利用者の利便性を重視したサービスの確立

- ① 適切な助言・指導を行うための主任介護支援専門員の配置 配置数 2名
- ② 24時間の連絡体制により、利用者の緊急対応を実施した。 年間総数 767回
- ③ 利用者に関する情報共有を目的とした会議として、毎日のミーティング時に困難事例や成功事例等の発表を行い、全員で情報共有した。

### (4) 他職種連携

- ① 関係機関への提言、本会各部署への情報提供及び地域福祉課との協力・連携

### (5) ケアプランチェック体制の整備

- ① ケアプラン適正化事業の結果の情報伝達とを行い、以降のプラン作成に活用した。
- ② 本会独自の自己点検表を活用し、ケアマネジメントの一連の流れを自己チェック実施した。
- ③ 職員間でケアマネジメント業務の内部チェックの実施(月1回)  
ケアマネジャーの相互で毎月実施。記録漏れやプラン作成の手順等の確認を行い、法令遵守されているかをチェックした。

(6) 職員の資質向上

- ① 事業所運営の改善、サービスの向上を目的とした利用者アンケート調査を実施し、職員の対応について不満等があった項目については、事業所内で検討し、接遇についての研修等を行い、改善を図った。  
(配布数 523 人、回収 411 人、回収率 78.6%)
- ② 県内外の研修等へ積極的な参加を行い、資質向上を図った。・・・・・・延参加数 48 名
- ③ 毎月 1 回、係内研修を開催し、情報共有やケアマネジメント研修を行った。・・・・・・12 回
- ④ 主任介護支援専門員の資格取得奨励し、今年度 1 名取得した。

(7) 居宅介護支援事業所実績

① 請求実績

年間介護給付利用者総数	6,821 人 (6,488 人)
介護支援専門員一人当りの担当者数 (介護)	34.4 人 ( 32.8 人)
年間予防給付利用者総数	796 人 (910 人)
介護支援専門員一人当りの担当者数 (予防)	4.0 人 ( 4.6 人)
介護支援専門員一人当りの担当者数 (介護+予防)	38.4 人 ( 37.4 人)

② 職員の資質向上

事例検討会	13 回
係内研修	12 回
介護支援専門員更新研修	2 人
主任介護支援専門員取得	1 人
県内外研修参加者	延べ 46 人

2 介護者リフレッシュ事業

柏崎市から受託し、在宅で家族等を介護している介護者を対象に介護者同士の交流と語らいの場を設け、日頃の疲れを解消できるよう福祉センターや市内の保養施設等を会場に日帰りコースを開催した。

第 1 回 福祉機器、介護ロボット展示会・アンチエイジング講座

わいがやフェスティバルでの P R (6 月 25 日) 参加者 14 人

第 2 回 施設見学(市内小規模多機能、特養)及びランチを囲みながらの交流会

(7 月 14 日) 参加者 14 人

第 3 回 「介護のコツ」についての研修会及び懇談会

(11 月 15 日) 参加者 11 人

第 4 回 笑足ねっとしらさん家による体操&運動及び昼食を囲みながらの交流会

(3 月 15 日) 参加者 9 人

平成 28 年度実績 計 4 回 参加者 計 48 人 (平成 27 年度実績 計 5 回 参加者 計 91 人)

3 地域包括支援係 (西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ運営受託)

(1) 包括的支援事業

① 柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみの運営

ア 公益性・地域性・協働性の 3 つの基本的視点に立脚したセンター運営

② 総合相談・支援業務

ア 総合相談においては、介護保険利用についての相談が多くあった。

イ 実態把握

③ 担当圏域における地域包括支援ネットワークの構築

ア 地域ケア会議については、まちなかでは、港町を中心に重点地区として地域ケア圏域会議を開



催した。くじらなみでは、上米山地区を重点地区として地域ケア圏域会議を開催した。

イ 西地域包括支援センター通信を年2回発行（6月、11月）

④ 市内全域における地域包括支援ネットワークの構築

ア 地域包括支援センター連絡会議（毎月1回開催）へ参加

イ 地域包括支援センター重点活動検討部会へ参加した（地域ケア会議部会、ケアマネジメント部会）

ウ 高齢者虐待防止ネットワーク会議（年1回）へ参加し、認知症サポーター養成研修等への協力や施設虐待の防止について意見交換を行った。

⑤ 権利擁護業務

ア 高齢者虐待の防止および対応では、くじらなみ地区での虐待対応が急増した。同じ家庭に対する複数回の対応を行うなど、対応に苦慮するケースが増えている。

イ 成年後見制度及び日常生活自立支援事業の啓発として、地区民協に出向き、チラシを配って啓発活動を行った。

ウ 老人福祉施設等への措置支援はなかったが、いつでも対応できる体制を整備した。

エ コツコツ貯金体操、サロンを訪問し、消費者被害の防止について、作成した冊子や消費生活センターのチラシなどを使って、啓発活動を実施。実際の被害に対する対応はなし。

⑥ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ア 高齢者の多様な課題、心身の状態、生活環境、ニーズに応じたケアマネジメント支援

イ 介護支援専門員へのサポートでは、利用者の認知症に絡んだ支援や、世代を超えてその世帯が抱える問題が複合的で介護保険事業だけではマネジメント困難な事例等に対する支援などを行った。

ウ 関係医療機関の連絡会議への参加

エ 地域における介護支援専門員ネットワークを活用し、困難事例などに対する支援に活用している。

⑦ 介護予防ケアマネジメント業務

総合事業モデル事業を利用するための計画作成を行った。

(2) 介護予防事業

① 指定介護予防支援事業（予防給付）

ア 要支援1・2の方への介護予防ケアマネジメント

イ 指定居宅介護支援事業者へ業務委託

ケアマネジメント件数の総数としては、昨年とほぼ変わらない状況であるが、委託先となる居宅介護支援事業所が減少又は介護予防事業の規模を縮小しているため、包括支援センター自身での作成が増加する結果となった。

② その他の事業

ア 住宅改修費支給に係る理由書作成を行った。

(3) 地域包括支援係（柏崎市西地域包括支援センターまちなか・くじらなみ）実績

① 総合相談・支援事業相談受理件数

ア まちなか

相談実績	実人数	延人数
年間相談者数	345人(337人)	396人(398人)

イ くじらなみ

相談実績	実人数	延人数
年間相談者数	279人(270人)	280人(294人)

ウ 共通の支援基盤構築事業

項目	まちなか	くじらなみ
地域活動への参加	12回(21回)	71回(31回)
地域包括支援センター連絡会議	11回(11回)	11回(11回)
地域包括関係会議等	30回(38回)	29回(79回)
関係機関との会議等	43回(19回)	53回(32回)
認知症関連業務の実施	15回(37件)	8回(7回)

エ 権利擁護事業

対応内容	まちなか	くじらなみ
日常生活自立支援事業活用支援	4回(4回)	0回(0回)
成年後見制度の活用支援	6回(5回)	0回(20回)
虐待(疑い含む)への対応	45回(21回)	201回(26回)
合計	55回(30回)	201回(46回)

虐待対応が急増し、対応困難な事例が増えている。

オ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

項目	まちなか	くじらなみ
地域ケア会議の企画・開催	38回(34回)	29回(3回)
困難事例対応(CMあり)	61回(46回)	105回(34回)
困難事例対応(CMなし)	43回(40回)	100回(18回)
医療関係機関との会議への参加	2回(10回)	11回(0回)
ケース検討会への参加	24回(20回)	17回(6回)
ケアマネ連絡会の企画、参加	6回(8回)	6回(5回)
ケアマネ研修会の企画、参加	2回(2回)	4回(2回)

カ 介護予防ケアマネジメント事業

項目	まちなか	くじらなみ
介護予防サービス計画作成件数	5件(2件)	2件(0件)

キ 指定介護予防支援事業所

項目	まちなか	くじらなみ
年間介護予防サービス計画作成総数	1,638件(1,666件)	1,265件(1,127件)
月平均介護予防サービス計画自前作成	88件(81件)	76件(59件)

月平均介護予防サービス計画委託作成	47件 (57件)	30件 (35件)
月平均介護予防サービス計画作成総数	135件 (138件)	106件 (94件)

ク 任意事業

項目	まちなか	くじらなみ
住宅改修支援事業（理由書作成）	10件 (10件)	5件 (7件)
福祉用具購入費支給申請手続支援	3件 (3件)	1件 (3件)

## ○通所介護事業課（赤坂山・松波・北条・シニアエクササイズさんわデイサービスセンター）

平成 28 年度は、新たな取り組みとしてリハビリ特化型短時間デイサービス事業の立ち上げ、従来の短時間デイサービス「わかがえーる」の拡充や「はつらつクラブ」への事業展開、若年性認知症や医療ニーズの高い利用者の受け入れ等、各デイサービスセンターが特色あるサービスの提供を行った。

また、平成 29 年 4 月から開始となる総合事業への準備として、利用者及び介護者への説明会の実施と各デイサービスセンターが地域の実情を踏まえながらサービス提供体制と職員配置数等の検討を行った。

### 1 通所介護事業

- (1) 赤坂山デイサービスセンターの年間利用状況 定員 44 人：一般型 39 人・認知症型 5 人  
短時間デイサービス「わかがえーる」年間利用状況 定員：午前 10 人・午後 10 人

平成 28 年度は、年度途中で一般型定員数を 44 人から 39 人に変更し、地域の利用ニーズを基に利用者数と職員数の適正化及び収支バランスの均衡を図った。さらに、認知症対応型通所介護事業についても、市内各地に小規模多機能型居宅介護事業所や認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）が整備され、当デイサービスセンター認知症対応型がそれらの施設を利用するための通過施設となっている現状があり、利用者数の減少が進み、今後も増加が望めないことから平成 29 年 1 月を以って休止とした。その後、認知症対応型の利用者については認知症加算に切り替え、従来の一般型の利用者と併せて認知症加算を算定することで引き続き専門性の高い認知症者へのケアを実施した。

これらの結果、利用者数は順調に推移し平成 28 年度総延べ利用者数も安定し、前年度比で 242 人の増となったこと、さらに経費節減に努めたことから収支のバランスの改善につながった。

短時間デイサービス「わかがえーる」は、買い物訓練等を企画・実施し、利用者個々の状態に合わせた多様なメニューにて訓練プログラムを実施することで、利用者の運動意欲増進と運動習慣への意識づけになったことから、利用者の増加につながった。

総延利用者数	うち 短時間 DS	一般型				認知症型 (要介護 1～ 要介護 5)	キャン セル料	平均利用 者 (人/日)
		一般型		介護予防型				
		(要介護 1～要介護 5)		(要支援 1～要支援 2)				
		うち 短時間 DS	うち 短時間 DS	うち 短時間 DS	うち 短時間 DS			
		延利用者		延利用者		延利用者		
11,609 人 (11,367 人)	1,275 人 (672 人)	8,248 人 (7,887 人)	529 人 (215 人)	2,875 人 (2,986 人)	746 人 (457 人)	486 人 (504 人)	180 回 (169 回)	37.4 人 (36.5 人)
242 人増	603 人増	361 人増	314 人増	111 人減	289 人減	18 人減	11 回増	0.9 人増

- (2) 松波デイサービスセンターの年間利用状況 定員 37 人：一般型 30 人・認知症型 7 人

平成 27 年度に引き続き、平成 28 年度も総延べ利用者数が減少した。

介護度の高い複数回利用者が死亡・入院・入所等の理由で中止となったことの要因に加え、地域に高齢者施設が充足したことと介護サービスを必要とする高齢者年齢の引きあがり等、松波デイサービスセンターを取り巻く地域の環境変化等複数の要因から、年々利用者数が減少していることが大きな要因と考えられる。

また、認知症対応型通所介護においても、認知症状の重度化が進んでいくにつれて認知症対応型生活介護事業所（グループホーム）等へ入所となり、サービスが中止となったことから延利用者数が減少した。

しかし、若年性認知症利用者への取り組みとして、若年性認知症利用者が家庭的な雰囲気の中で過ごすことが出来るよう環境整備し、2階の1室に平成28年度「あすなるクラブ」を開始した。現在は、3名の方が利用しているが、今後は、さらに提供するメニューを拡大していくことで、利用者数の確保につなげていきたい。

年度	総延利用者数	一般型		認知症型 (要介護1～ 要介護5)	キャンセル数	平均利用者 (人/日)
		一般型 (要介護1～ 要介護5)	介護予防型 (要支援1～ 要支援2)			
		延利用者	延利用者	延利用者		
28年度	7,088人 (7,532人)	5,144人 (5,694人)	912人 (666人)	1,032人 (1,172人)	81回 (124回)	22.8人 (24.2人)
昨年比	444人減	550人減	246人増	140人減	43回減	1.4人減

(3) 北条デイサービスセンターの年間利用状況 定員：一般型34人

短時間デイサービス「はつらつクラブ」 定員：10人

平成28年度の総延べ利用者数は、平成27年度を大きく上回り、891人の増となった。

「お達者教室」から発展した短時間型デイサービス「はつらつクラブ」の利用数実績としてカウントできたことが大きな要因であるが、他にも高柳地区にある事業者によるデイサービスの土・日利用の中止、さらに同地区の短期入所施設が平成29年3月末に廃止が決まり、それらの影響を受けて、新規利用の希望がコンスタントに入り、送迎範囲を高柳方面に拡大したことも利用者増の要因の一つとなった。また、理学療法士の配置により、リハビリメニューの見直し・実践・評価を繰り返し行ったことから利用者自身が効果を実感し、リハビリへの意識が高まったことも大きな成果となった。

年度	総延利用者数	一般型				キャンセル数	平均利用者 (人/日)
		一般型 (要介護1～ 要介護5)		介護予防型 (要支援1～ 要支援2)			
		うち 短時間DS	延利用者	うち 短時間DS	延利用者		
28年度	8,904人 (8,013人)	7,025人 (6,375人)	59人	1,879人 (1,638人)	578人	128回 (130回)	28.4人 (25.7人)
昨年比	891人増	650人増	-	241人増	-	2回減	2.7人増

(4) シニアエクササイズさんわの年間利用状況 定員：午前15人・午後15人

新規事業として、利用者の生活課題に着目した運動メニューを中心としたリハビリマシーンに頼らない「リハビリ特化型短時間デイサービス」として平成28年4月に開所した。市内に従来からあるリハビリマシーンを主体とした事業所が、すでに利用者や介護者に周知されていたこともあって、開所当初は利用者実績が思うように伸びず、その改善策として西山・野田方面に送迎範囲の拡大を行った。さらに、自宅でもできる運動メニューのリハビリを理学療法士が提供していることを、包括支援センターや居宅介護支援事業所へ改めてPRに回った。その結果、9月頃から新規利用者が順調に確保できるようになり、また、マシーン主体の他事業所を利用していた利用者がシニアエクササイズさんわに切り替える利用者も徐々に増えてきた。

支出削減に最大限努めたが、開所当初において、利用者確保に苦慮したことから、予算収入を確保

することができず、非常に厳しい状況であったが、年度後半から利用者数が増加している。

年度	総延利用者数	一般型		キャンセル数	平均利用者 (人/日)
		一般型 (要介護1～要 介護5)	介護予防型 (要支援1～ 要支援2)		
		延利用者	延利用者		
28年度	1,539人	812人	727人	0回	4.2人

(5) 介護研修受け入れ事業

市内小・中学生の体験学習、専門学校、大学及び介護職員初任者研修の施設実習の受け入れ。

実習受入	赤坂山デイサービスセンター	松波デイサービスセンター	北条デイサービスセンター
市内小・中学生の職場体験学習	31人	35人	20人
介護職員初任者研修 施設実習	0人	3人	0人
専門学校・大学生の施設実習	50人	3人	0人
その他	6人	0人	22人
合計	87人	41人	42人

その他については、赤坂山デイサービスセンターの柏崎特別支援学校の高等部1年生のボランティア受け入れ、北条デイサービスセンターの北条児童クラブのボランティア、認知症実践者研修施設実習、社会福祉士実習の受け入れを行った。

(6) 介護保険外サービスの実施

① 理美容サービス

- ア 赤坂山デイサービスセンター . . . . . 利用延人数 157人 (191人)
- イ 松波デイサービスセンター . . . . . 利用延人数 169人 (157人)
- ウ 北条デイサービスセンター . . . . . 利用延人数 115人 (100人)

② 時間延長サービス

- ア 赤坂山デイサービスセンター . . . . . 利用延人数 1人 (5人)
- イ 松波デイサービスセンター . . . . . 利用延人数 1人 (2人)

③ お達者教室 (北条デイサービスセンター) . . . . . 利用延人数 24人 (621人)

(7) 各デイサービス共通

①設置した AED を活用した救急蘇生法や演習による感染症予防対策の研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

②デイサービスだより

月1回介護者向け発行、年1回全戸回覧にて広報活動を行った。

③運営推進会議の開催

介護者・地域の関係者・市担当課等を交えて意見交換を行った。

- 赤坂山デイサービスセンター . . . . . 1回
- 松波デイサービスセンター . . . . . 2回
- シニアエクササイズさんわ . . . . . 2回

## 2 生活介護事業

### (1) 赤坂山デイサービスセンター障がい者デイサービス

25年10月から事業を開始したが、28年度に入り登録者が0人の状況が続いていた。この状況の中、松波地区から利用の要望が上がったことから、松波デイサービスセンターで引き継いで取り組むこととし、平成29年3月末を以って赤坂山デイサービスセンター基準該当生活介護事業は廃止し、平成29年4月1日に松波デイサービスセンターにて事業を開始することとした。